

天皇誕生日祝賀レセプション（令和8年2月25日）

令和8年2月25日、麻妻大使は、ウイントフック市内メルキュールホテルにて、66歳を迎えられた天皇陛下の誕生日祝賀レセプションを開催しました。

本レセプションには、アシパラ＝ムサヴィ国際関係・貿易大臣、カンテナ・ジェンダー平等・児童福祉大臣、ムブエンデ国家計画委員長官、クローネ産業・鉱山・エネルギー副大臣、ムビタ国防・退役軍人副大臣、バヨリ・ジェンダー平等・児童福祉副大臣、マサケ農業・漁業・水・土地改革副大臣をはじめとする政府関係者、外交団、企業、学術界、文化界、スポーツ界、メディア関係者等、約230名の方々に出席いただきました。

麻妻大使は、挨拶において、昨年8月に横浜で開催された第9回アフリカ開発会議（TICAD9）へのングラレ首相の出席、本年1月のアシパラ＝ムサヴィ国際関係・貿易大臣の外務省賓客としての訪日を通じ、日ナミビア関係の緊密さが一層高まっており、ナミビアのグリーン水素開発、オフショア石油・ガス開発、及びレアアース開発等の経済面での発展のポテンシャルに日本も協力可能であること、また教育・人材育成等への日本の協力の歴史、芸術や音楽を通じた交流の重要性等について述べました。

主賓のアシパラ＝ムサヴィ国際関係・貿易大臣は、挨拶の中で、ナミビアと日本の友好関係がナミビア独立以来発展し、エネルギー分野の協力等を含む互恵的パートナーシップに成熟してきていることを本年1月の日・ナミビア外相会談で再確認したこと、その中で、日本の投資等を通じた戦略的な開発パートナーとしての役割を重視しており、これまでJICAやTICADプロセスを通じた協力に感謝していること、及び今後も共通の価値観に基づきグローバルな問題に関し協力していくことへの希望等を述べました。

式典では、冒頭にナミビア・ユース・オーケストラが両国歌を演奏した他、西川扇夢二氏が日本舞踊を披露しました。

また、JICA ナミビア支所の協力により、日本のナミビアに対する経済協力活動を紹介する広報ブースが設置されたほか、大使館による日本文化ブースでは、来場者の方々に日本酒の試飲や折り紙体験等の機会を提供しました。



アシパラ＝ムサヴィ国際関係・貿易大臣を歓迎する麻妻大使夫妻



ナミビア・ユース・オーケストラによる国歌演奏



麻妻大使による挨拶



アシパラ＝ムサヴィ国際関係・貿易大臣によるスピーチ



日本舞踊パフォーマンス



アシパラ＝ムサヴィ大臣の JICA 展示視察



広報文化ブース・折り紙体験



日本酒試飲



日本食の提供



麻妻大使とゲストの歓談風景



館員夫人等による着物による接遇